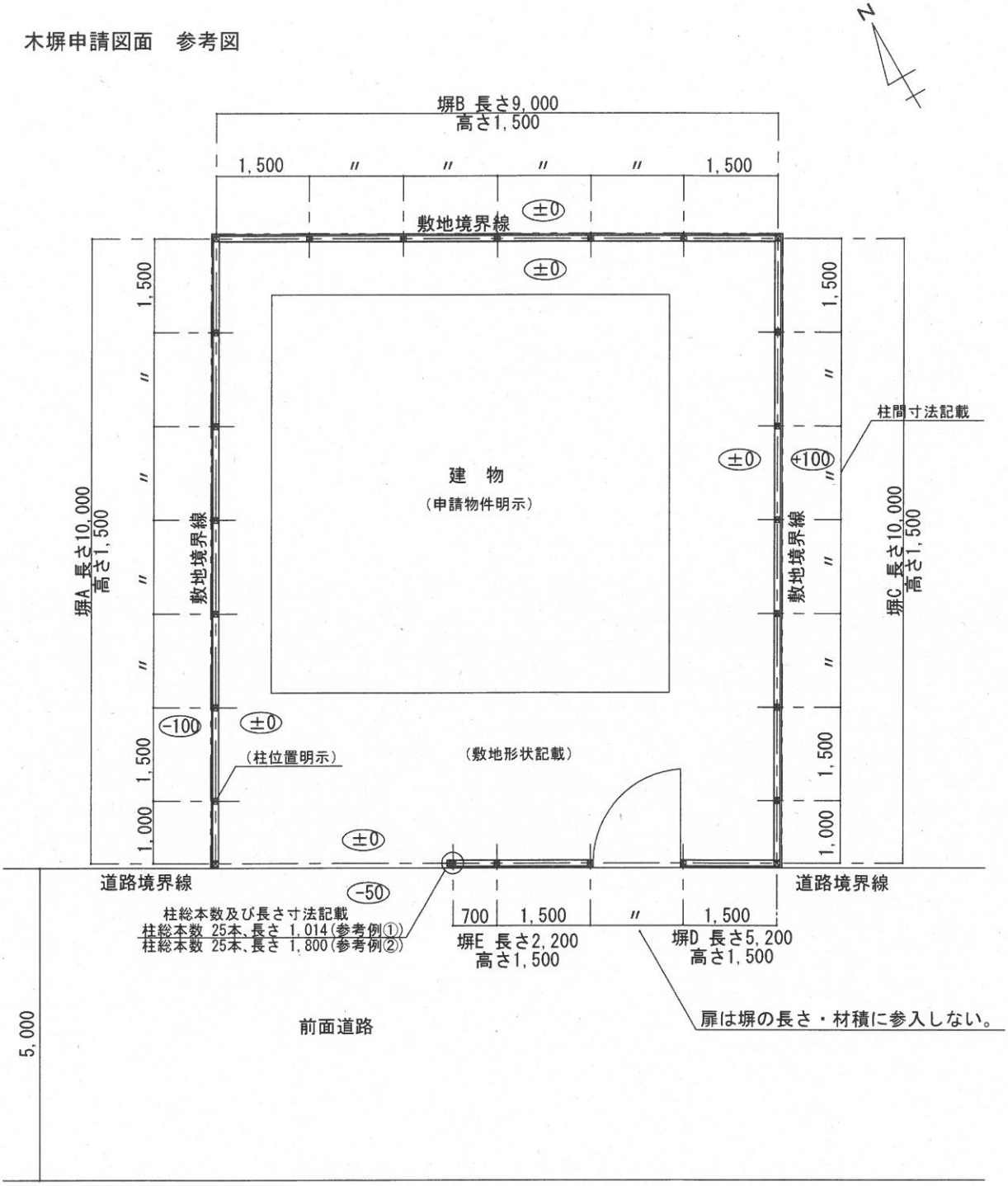
木塀申請図面　参考図



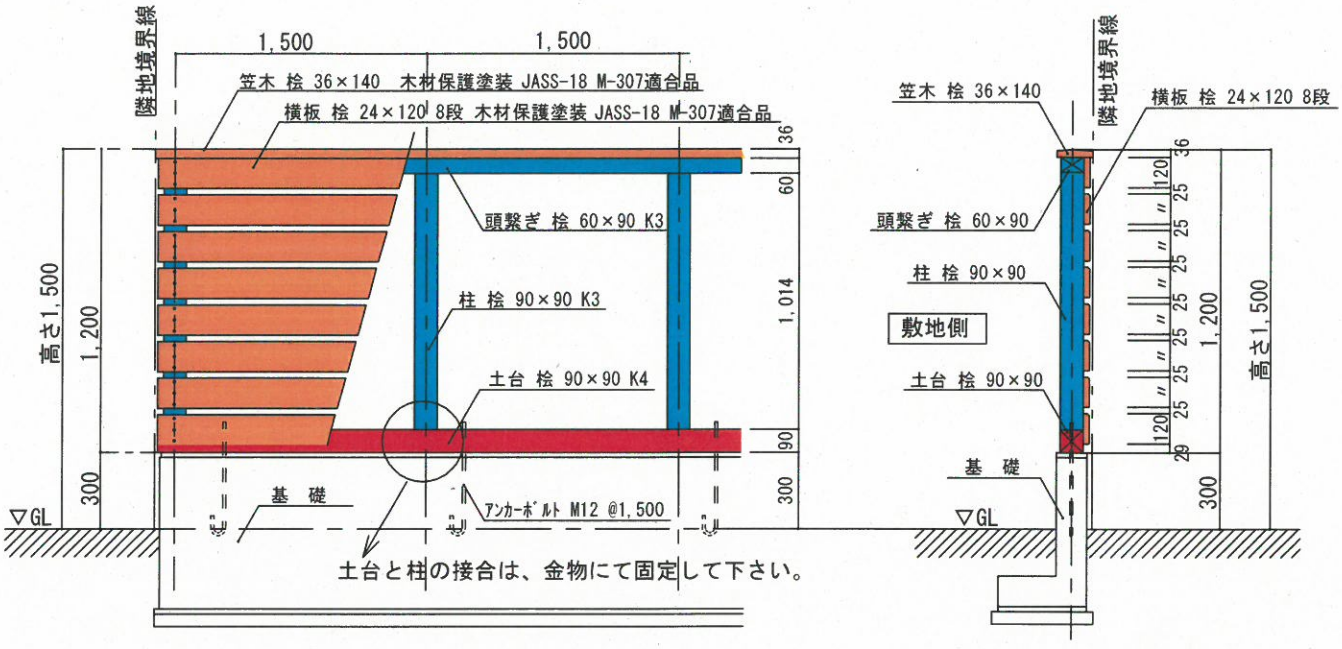
○塀A～Eの総長（柱芯間）＝10,000+9,000+10,000+1,500+2,200＝32,700（全長の記載）

配置図・平面図　S=1/100　単位は mm

※木塀の場合には配置図と平面図の兼用も可としますが、
・敷地境界線のほか、設置する塀や建物、周辺施設（道路等）の位置
・設置するへいの延長や高さ、柱の位置
（複数設置する場合には、それぞれの塀の延長や高さ、柱の位置）等を確認しますので、「添付図面作成のためのチェックシート」に従い作成願います。

利用者番号	v1001	工事件名	○○様邸木塀工事

木塀申請図面　参考例①



立面図　S=1/30　単位は mm

断面図　S=1/30　単位は mm

※耐久性処理は立面図に同じとする。

耐久性の凡例

- K4またはAQ1種認証材（土台下にパッキン材を使用する場合も同じ）
- K3またはAQ2種認証材以上
- 木材保護塗装　JASS18-M307適合品　（K3またはAQ2種認証材に以上も可）

※交付申請時には耐久性処理を施した措置を記入する事。

利用者番号	v1001	工事件名	○○様邸木塀工事

様式1号,6号別添

木材利用量計算書・横書き（塀用）

利用者番号： v1001　　工事件名： **木塀申請図面　参考例①**

（当該外構施設に実際に使用する木材の量（設計寸法）により記入してください。）

耐久性区分は例として入力しています。

番号	部位*1	樹種名*2	形状*3	寸法（mm） 断面			長さ	1本(枚)当たりの材積*4（㎥／本or枚）	数量*5	使用材積*6（㎥）	耐久性区分*7	備考
1	土台	ヒノキ	角・平	90	×	90	32,700	0.2648	1	0.2648	K4	
2	柱	ヒノキ	角・平	90	×	90	1,014	0.0082	25	0.2050	K3	
3	頭繋ぎ	ヒノキ	角・平	60	×	90	32,700	0.1765	1	0.1765	K3	
4	笠木	ヒノキ	角・平	36	×	140	32,700	0.1648	1	0.1648	K3	
5	横板	ヒノキ	角・平	24	×	120	32,700	0.0941	8	0.7528	木材保護塗料	
6								0.0000		0.0000		
7								0.0000		0.0000		
8								0.0000		0.0000		
9								0.0000		0.0000		
10								0.0000		0.0000		
11								0.0000		0.0000		
12								0.0000		0.0000		
13								0.0000		0.0000		
14								0.0000		0.0000		
15								0.0000		0.0000		
合計										1.5639		

（凡例）

プルダウンを選択するセル　　柱芯間の塀総長= 32,700 mm　　使用材積合計= 1.5639 ≧ 0.40㎥ OK

自動計算されるセル　　使用材積合計 / 柱芯間の塀総長 = 0.0478 ≧ 0.04㎥/m OK

注）*1：当該木材を使用する部材の名称を記入してください。 記載例：（塀の場合）土台、支柱、胴縁、横桟、縦板、横板、笠木、笠木下地など

*2：プルダウンのリストから選択してください。その他国産材、外国産材を選択した場合は、備考欄に樹種名を「樹種：〇〇」と記載してください。

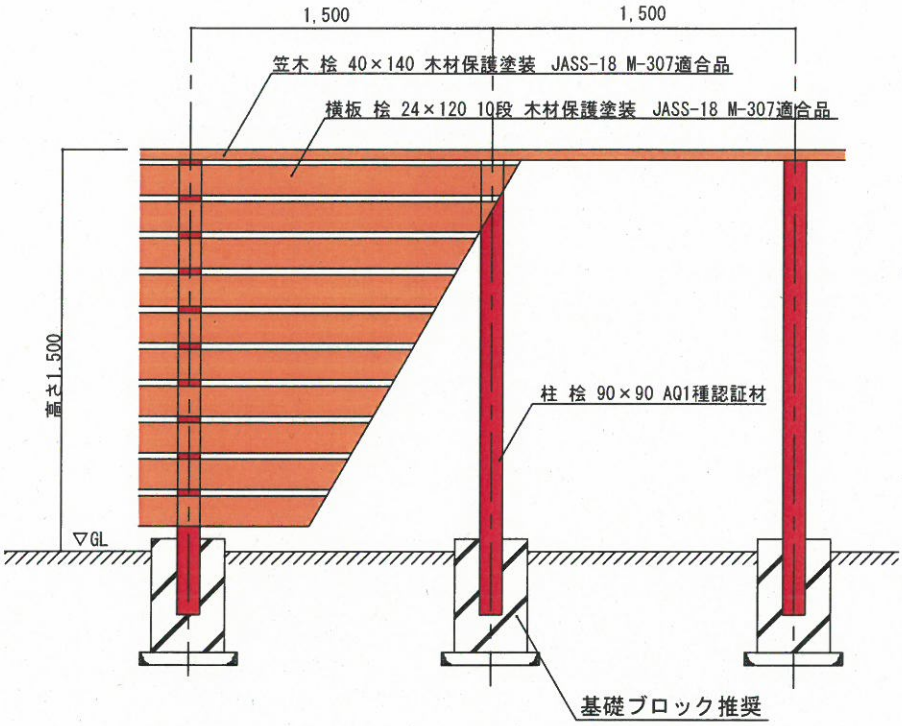
*3：プルダウンのリストから選択してください。 形状：「角・平」は柱・板材のとき、「二つ割」は丸太二つ割のとき、「丸太」は丸太のとき を選択してください。

*4：自動計算　　*5：板塀等が縦張りの場合は、備考欄に数量の根拠「n=塀長さ/(本数/基本長さ)」を記載してください。　　*6：自動計算

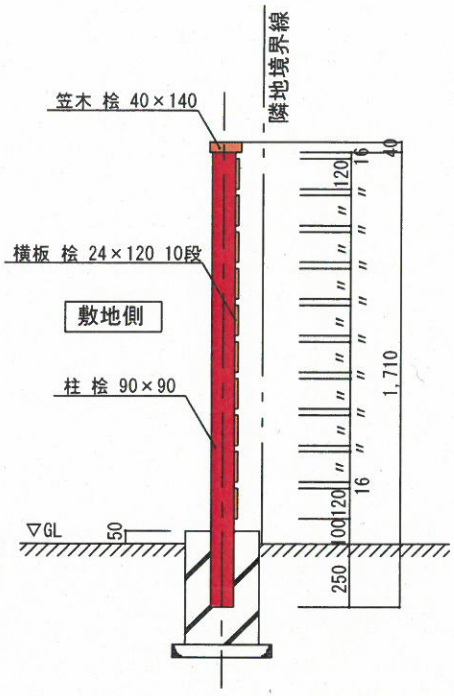
*7：プルダウンのリストから選択してください。その他を選択した場合は、備考欄に具体的な措置内容を記載してください。
交付申請時では**耐久性処理をした記号**を記入してください。

塀 - 3

木塀申請図面　参考例②



立面図　S=1/30　単位は mm



断面図　S=1/30　単位は mm

※耐久性処理は立面図に同じとする。

耐久性の凡例

- K4またはAQ1種認証材　（土台下にパッキン材を使用する場合も同じ）
- K3またはAQ2種認証材以上
- 木材保護塗装　JASS18-M307適合品　（K3またはAQ2種認証材以上も可）

※交付申請時には耐久性処理を施した措置を記入する事。

利用者番号	v1001	工事件名	○○様邸木塀工事

様式1号,6号別添

木材利用量計算書・横書き（塀用）

利用者番号： v1001　　工事件名： **木塀申請図面　参考例②**

（当該外構施設に実際に使用する木材の量（設計寸法）により記入してください。）

耐久性区分は例として入力しています。

番号	部位*1	樹種名*2	形状*3	寸法（mm） 断面			長さ	1本(枚)当たりの材積*4（㎥／本or枚）	数量*5	使用材積*6（㎥）	耐久性区分*7	備考
1	柱	ヒノキ	角・平	90	×	90	1,710	0.0138	25	0.3450	K4	
2	笠木	ヒノキ	角・平	40	×	140	32,700	0.1831	1	0.1831	木材保護塗料	
3	横板	ヒノキ	角・平	24	×	120	32,700	0.0941	10	0.9410	木材保護塗料	
4								0.0000		0.0000		
5								0.0000		0.0000		
6								0.0000		0.0000		
7								0.0000		0.0000		
8								0.0000		0.0000		
9								0.0000		0.0000		
10								0.0000		0.0000		
11								0.0000		0.0000		
12								0.0000		0.0000		
13								0.0000		0.0000		
14								0.0000		0.0000		
15								0.0000		0.0000		
合計										1.4691		

（凡例）

プルダウンを選択するセル

自動計算されるセル

柱芯間の塀総長= 32,700 mm

使用材積合計= 1.4691 ≧ 0.40㎥ OK

使用材積合計 / 柱芯間の塀総長 = 0.0449 ≧ 0.04㎥/m OK

注） *1：当該木材を使用する部材の名称を記入してください。 記載例：（塀の場合）土台、支柱、胴縁、横桟、縦板、横板、笠木、笠木下地など

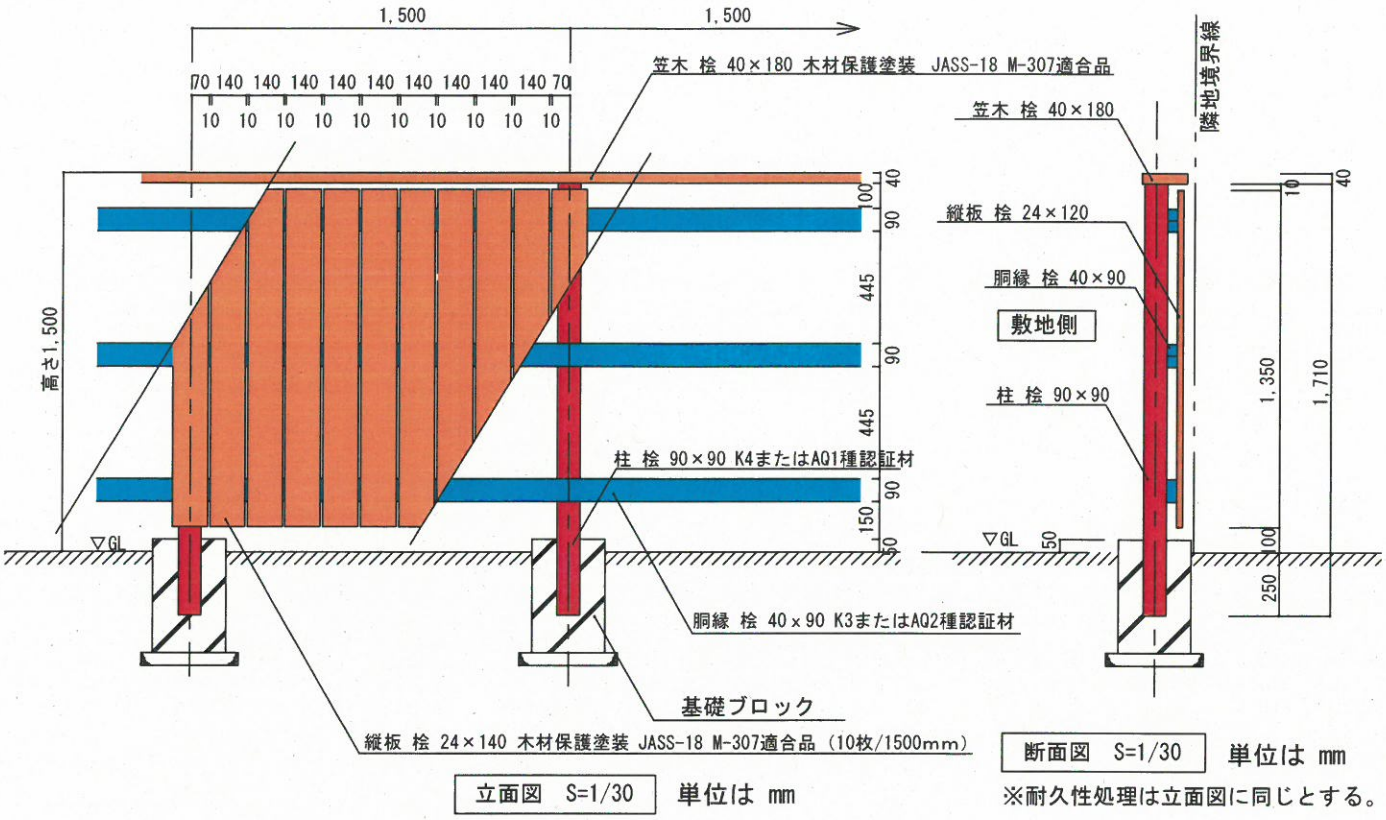
*2：プルダウンのリストから選択してください。その他国産材、外国産材を選択した場合は、備考欄に樹種名を「樹種：〇〇」と記載してください。

*3：プルダウンのリストから選択してください。 形状：「角・平」は柱・板材のとき、「二つ割」は丸太二つ割のとき、「丸太」は丸太のとき を選択してください。

*4：自動計算　　*5：板塀等が縦張りの場合は、備考欄に数量の根拠「n=塀長さ/(本数/基本長さ)」を記載してください。　　*6：自動計算

*7：プルダウンのリストから選択してください。その他を選択した場合は、備考欄に具体的な措置内容を記載してください。
交付申請時では**耐久性処理をした記号**を記入してください。

木塀申請図面　参考例③



耐久性の凡例

- K4またはAQ1種認証材　（土台下にパッキン材を使用する場合も同じ）
- K3またはAQ2種認証材以上
- 木材保護塗装　JASS18-M307適合品　（K3またはAQ2種認証材以上も可）

※交付申請時には耐久性処理を施した措置を記入する事。

利用者番号	v1001	工事件名	○○様邸木塀工事

様式1号,6号別添

木材利用量計算書・横書き（塀用）

利用者番号： v1001　　工事件名： **木塀申請図面　参考例③**

（当該外構施設に実際に使用する木材の量（設計寸法）により記入してください。）

耐久性区分は例として入力しています。

番号	部位*1	樹種名*2	形状*3	寸法（mm） 断面			長さ	1本(枚)当たりの材積*4（㎥／本or枚）	数量*5	使用材積*6（㎥）	耐久性区分*7	備考
1	柱	ヒノキ	角・平	90	×	90	1,710	0.0138	25	0.3450	K4	
2	胴縁	ヒノキ	角・平	40	×	90	32,700	0.1177	3	0.3531	K3	
3	笠木	ヒノキ	角・平	40	×	180	32,700	0.2354	1	0.2354	木材保護塗料	
4	縦板	ヒノキ	角・平	24	×	140	1,350	0.0045	219	0.9855	木材保護塗料	219=32,700/(10/150) + 1
5								0.0000		0.0000		
6								0.0000		0.0000		
7								0.0000		0.0000		
8								0.0000		0.0000		
9								0.0000		0.0000		
10								0.0000		0.0000		
11								0.0000		0.0000		
12								0.0000		0.0000		
13								0.0000		0.0000		
14								0.0000		0.0000		
15								0.0000		0.0000		
合計										1.9190		

（凡例）

プルダウンを選択するセル

自動計算されるセル

柱芯間の塀総長= 32,700 mm　使用材積合計= 1.9190 ≧ 0.40㎥ OK

使用材積合計 / 柱芯間の塀総長 = 0.0586 ≧ 0.04㎥/m OK

注） *1：当該木材を使用する部材の名称を記入してください。 記載例：（塀の場合）土台、支柱、胴縁、横桟、縦板、横板、笠木、笠木下地など

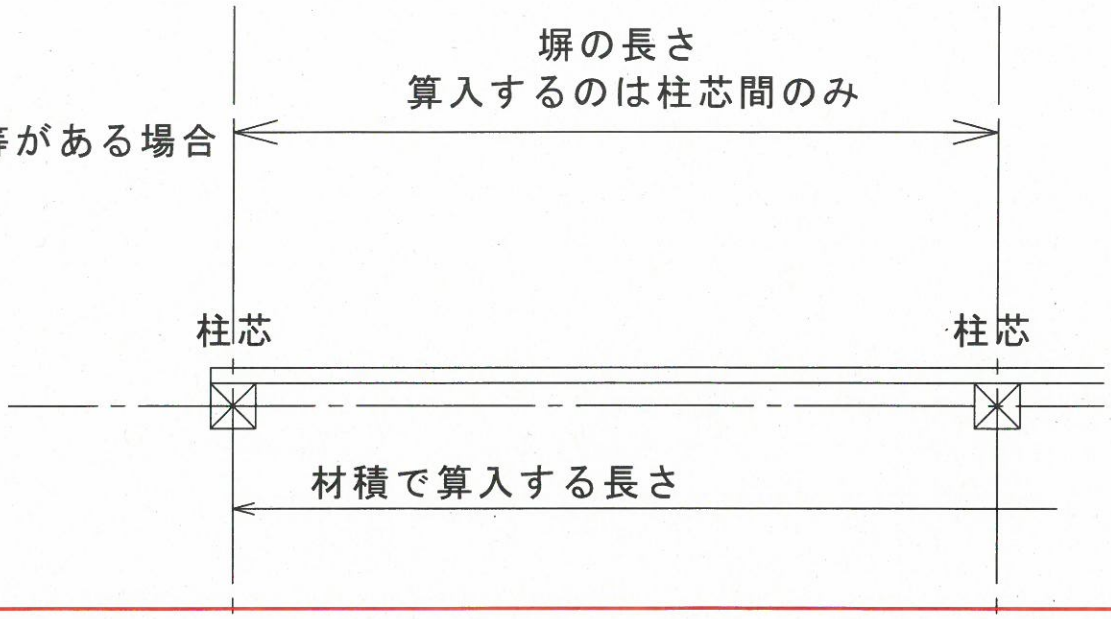
*2：プルダウンのリストから選択してください。その他国産材、外国産材を選択した場合は、備考欄に樹種名を「樹種：○○」と記載してください。

*3：プルダウンのリストから選択してください。 形状：「角・平」は柱・板材のとき、「二つ割」は丸太二つ割のとき、「丸太」は丸太のとき を選択してください。

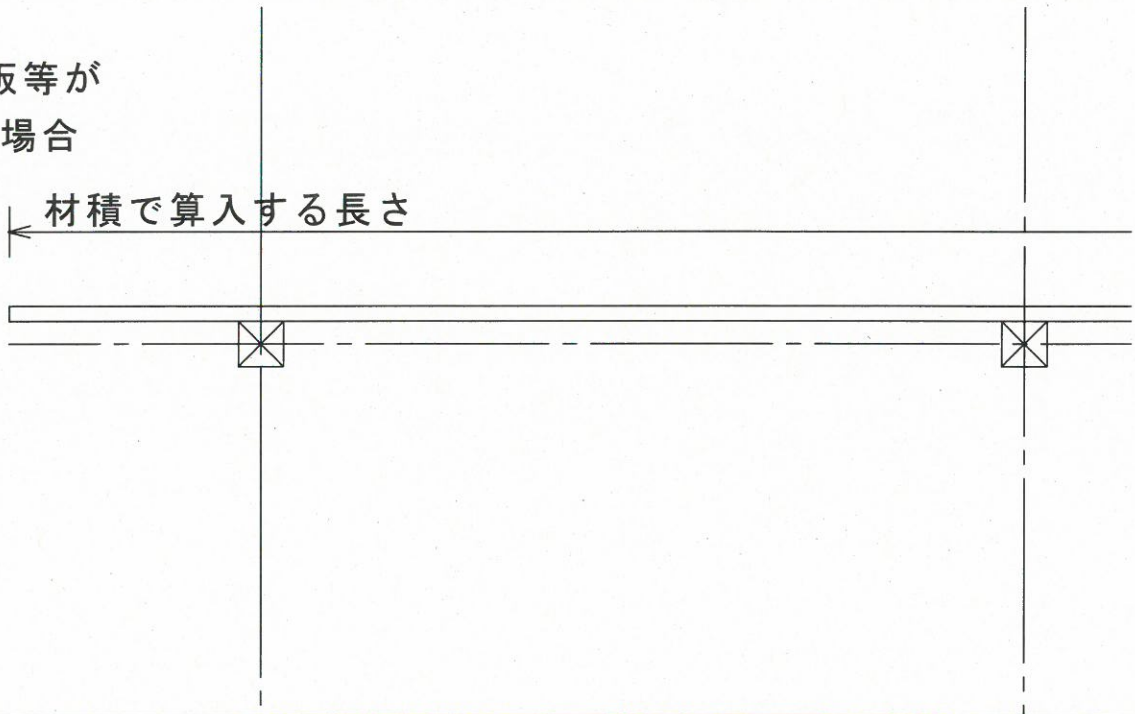
*4：自動計算　*5：板塀等が縦張りの場合は、備考欄に数量の根拠「n=塀長さ/(本数/基本長さ)」を記載してください。　*6：自動計算

*7：プルダウンのリストから選択してください。その他を選択した場合は、備考欄に具体的な措置内容を記載してください。
交付申請時では**耐久性処理をした記号**を記入してください。

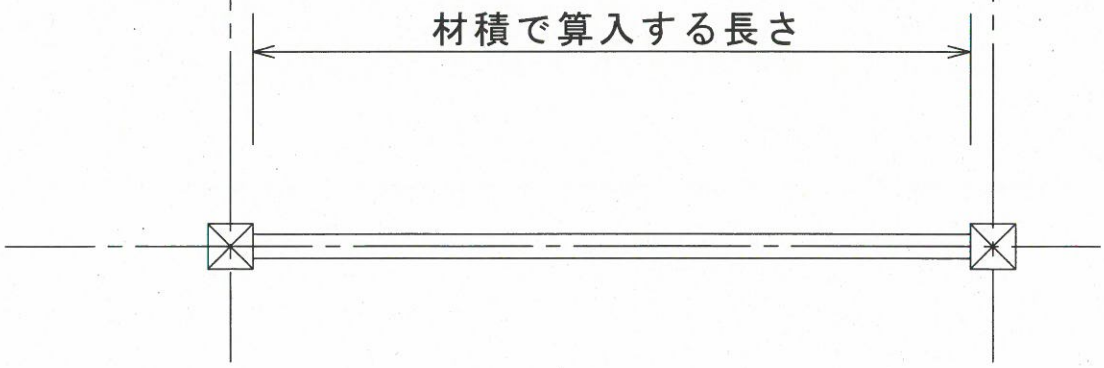
・柱まで横板等がある場合
有る場合



・柱より横板等が
出ている場合

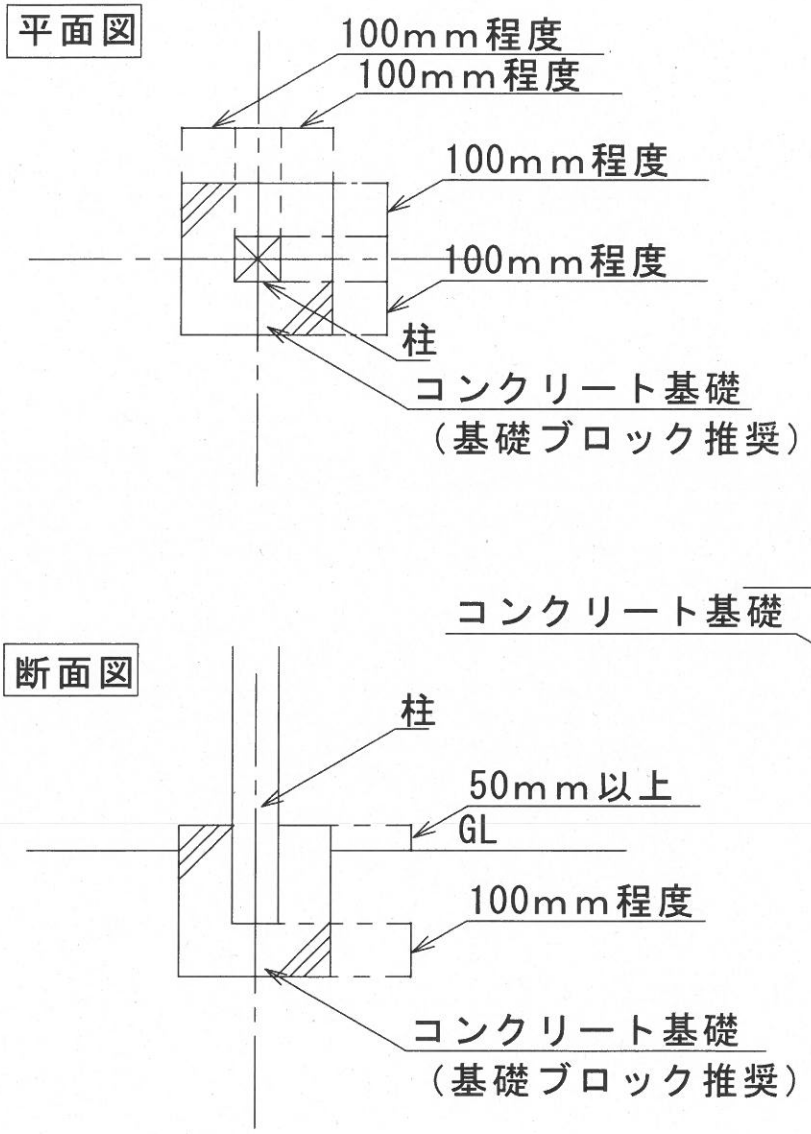


・貫（ぬき）の場合

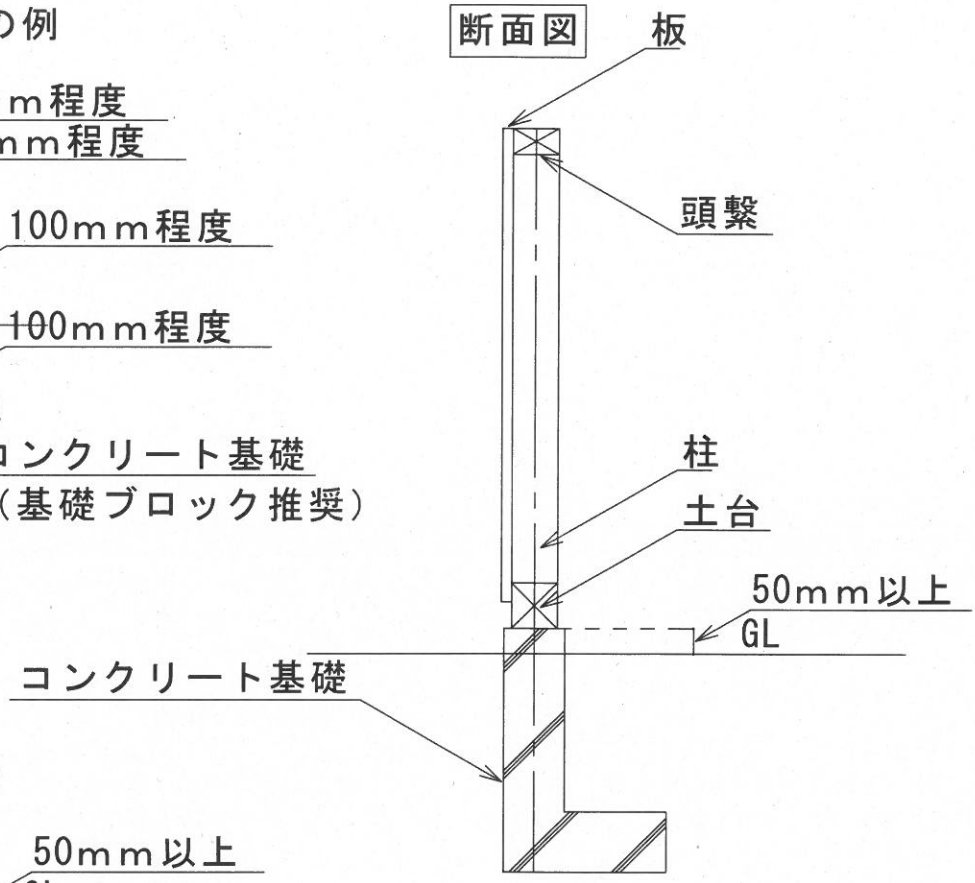


※　基礎について

※　単独基礎の例



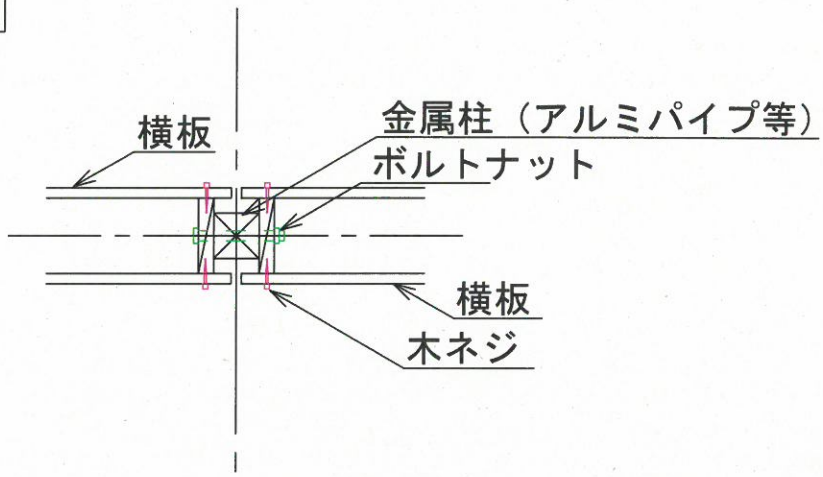
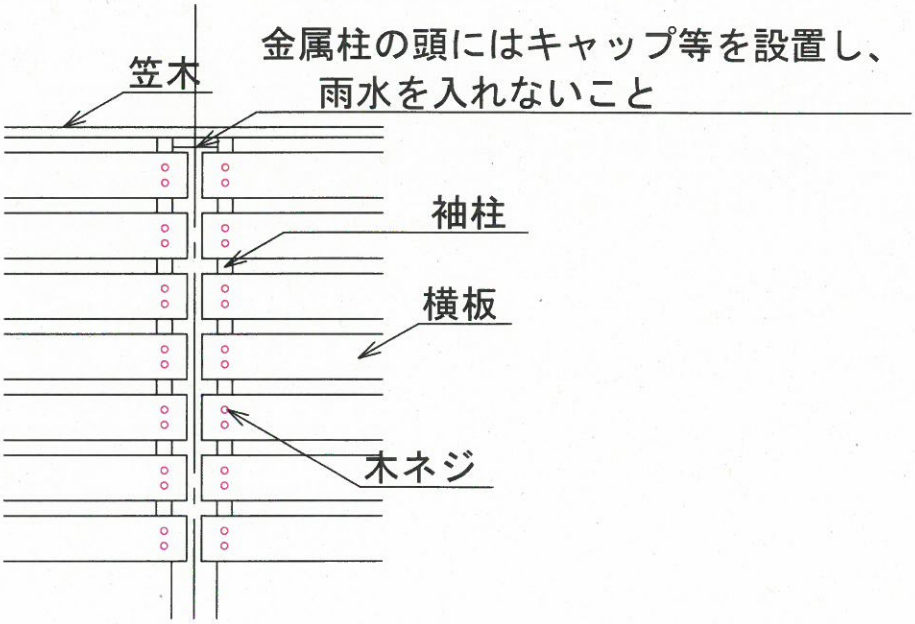
※　連続基礎の例



※　金属柱の設置方法（推奨例）

※　単独基礎の例　（両面貼付の際はK3、AQ2種認証材を推奨）

平面図



立面図